

『美術研究』389号(18年度第1冊/2006年6月刊行)

- (論文) 謝明良(矢島律子訳)「明代晩期の宋代官窯青磁鑑賞と『碎器』の流行」
(論文) 後小路雅弘「帝国大学のパブリックアート 青山熊治『九州大学工学部壁画』」
(書評) 吉澤勝弘『白隠 禅画の世界』(浅井京子)
(書評) 生きている画家、あるいは距離の逆説 田中淳『画家がいる「場所」近代日本美術の基層から』
について(北澤憲昭)
(研究資料) 津田徹英、皿井舞「兵庫・法恩寺 木造菩薩坐像」
(研究資料) 臺信祐爾「公刊『黒田清輝日記』(下)」
(解題) 公刊「黒田手紙控え」及び『黒田清輝日記』(田中淳)

『美術研究』390号(18年度第2冊/2006年12月刊行)

- (論文) 田中淳「後期印象派・考 一九一二年前後を中心に(下)」
(図版解説) 塩谷純「菊池容斎《観音経絵巻》」
(図版解説) 鶴田武良「黄輔周の舌画 民国期絵画資料」
(展覧会評) 皿井舞「古密教 日本密教の胎動」
(展覧会評) 田中淳「アジアのキュビズム 境界なき対話」
(展覧会評) 金恵信「ソウルの古宮で見るアジアのキュビズム」
(書評) 日本の中国彫刻研究の百年 石松日奈子『北魏仏教造像史の研究』を読む(肥田路美)
(書評) 荒屋舗透著『グレー=シュル=ロワンに架かる橋 黒田清輝・浅井忠とフランス芸術家村』
(山梨絵美子)

『美術研究』391号(18年度第3冊/2007年3月刊行)

- (論文) 陳芳妹(金立言訳)「追三代於鼎彝之間 宋代の『考古』から『玩古』への展開について」
(論文) 朴銀卿(金正善訳)「大徳寺所蔵《水月観音図》の供養人物群像に関する新解釈」
(論文) 相澤正彦「『破墨山水図』と宗淵」
(展覧会評) 青木茂「森鷗外と美術」
(研究資料) 津田徹英「善光寺式 阿弥陀如来像ならびに観音菩薩像」

『無形文化遺産研究報告』(無04-06-1/5:無形文化遺産部出版関係事業の一環として実施)

無形文化財や無形民俗文化財、文化財保存技術に関する研究論文、調査報告、資料翻刻等を掲載している。

『無形文化遺産研究報告』第1号

- 宮田繁幸「無形文化遺産保護における国際的枠組み形成」
大島暁雄「続・無形の文化財の保護をめぐって 無形の文化財の一体的な把握
と記録選択制度の検証」
俵木悟「無形民俗文化財映像記録の有効な保存・活用のための提言
情報の共有と開かれた利用の実現に向けて」
飯島満「吉田兵次『とやぶれ』」
森下愛子「陶芸技術に関する展覧会から
重要無形文化財指定の『わざ』と『ひと』がどのように展覧されてきたか」
深津(福岡)裕子「染織文化財の製作技法 船載黄色毛織物の素材と技法の分



析およびその解釈」

埋忠美沙「東京文化財研究所無形文化遺産部所蔵 歌舞伎絵はがき・プロマイド目録 明治・大正」

高桑いづみ「過渡期の鼓胴その後」

服部比呂美「『七夕馬』の技術伝承」

鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の鬘・床山の世界 名越昭司師に聞く」

『無形民俗文化財研究協議会報告書』(無 04-06-1/5 : 無形文化遺産部出版関係事業の一環として実施)

無形文化遺産部では毎年テーマを定め、保存会関係者・行政担当者・研究者などが一堂に会して無形の民俗文化財の保護と継承について研究協議する会を開催する。その第1回に当たる本年度は「民俗技術の保護をめぐる」をテーマとして開催し、その報告・総合討議の内容などをまとめて報告書として刊行した。



テーマ「民俗技術の保護をめぐる」

・鈴木規夫「序にかえて」

・依木悟「趣旨説明」

・報告

* 報告1 大島暁雄「『民俗技術』創設の背景と課題」

* 報告2 菊池健策「民俗技術保護のための行政的取り組み」

* 報告3 真島俊一「現存する民俗技術の全国的な動向と問題点」

* 報告4 井口崇「上総掘りの技術の伝承活動について」

* 報告5 昆政明「津軽海峡周辺地域の和船製作技術」

・総合討議

・参考資料

・アンケート集計結果

・あとがき

『保存科学』46号の出版(保 04-06-1/5)

所属研究員による文化財の保存と修復に関する科学的調査、研究、受託研究報告等の論文、報告および修復処置概報等を掲載している。

『保存科学』第46号

小椋大輔、石崎武志、銚井修一、北原博幸、犬塚将英、多羅間次郎、木下舞子

「高松塚古墳石室解体時の空調方法の検討」

Magdi KHALIL and Takeshi ISHIZAKI, Moisture Characteristic Curves of the Soil of Takamatsuzuka Tumulus

木川りか「古墳壁画の取り外し片等の保管時に使用する仮止めテープのカビ耐性簡易スクリーニング試験について」

間淵創、佐野千絵「浮遊真菌調査を用いた動的な室内環境評価法の検討」

